

杜の音

mori-note
since 2019

Vol.26
Jan. - Mar.
2026

杜の音 [mori-note]

allobuという杜の中で響く音、紡がれる物語を綴っていくノートという意味がこめられています。



Contents

#Special!

魂の叫び、アローブで再び!

“おじんの朗読と音楽が紡ぐ童話の世界”

#report:01

「こどもオペラ 3匹のこぶた」

#report:02

「アントニオ・ルイス・シルバ&イネス・フィリップ PIANO DUO」

#pick up!

「宇宙空地 関戸哲也に学ぶ 短編劇クリエイション講座」

#掘り下げ。

童話作家・詩人 宮沢賢治

#Coffee Break

アツアツの選べるメインが登場!

#図書館通信

イベント情報「市民文化交流イベント「星空のナイトライブラリー」」

今季のおススメ図書「賢治の学校」

今季のおススメ図書「宮沢賢治と学ぶ宇宙と地球の科学1 宇宙と天体」

#Information!

「アローブ絵馬」

「HOOK×近藤利樹×Honoka ウクレレコンサート」

「Clarinet Ensembleみたらしだんご よくばりコンサート」



「新もずの心」

～月のかけらと湖 朗読音楽会～

「ここは森…」開演前のオリジナルのナレーションから、会場は一気にお話の世界観に包まれます。今回は、「おじん」こと鬼頭隆氏と娘の瑞希氏に加え、ギターのエリス、和太鼓の「群鐘」の二人、そしてコーラス部隊を率いた、豪華な舞台となりました。静かな語りから始まった朗読は話が進むにつれ熱を帯び、おじんの言葉に呼応するように響く瑞希氏の即興ピアノ、エリスのギターは物語を盛り上げます。カラスとフクロウの戦いのシーンに突入し、和太鼓が登場するとさらに舞台上に迫力と臨場感がその楽器の音にも負けないおじんの全身から溢れる叫びで情景が目の前に広がります。もずの悲しみ、葛藤、フクロウの優しさ。そして、群れるカラスたちの心情。それぞれの心を繊細に紡いでいくおじんの言葉に、観客も惹き込まれ心を揺さぶられる舞台でした。

瑞希ピアノ弾き語りミニコンサート

瑞希氏が、一人旅で訪れた東北で感じた思いを曲にして、弾き語りで披露。曲によって、可愛らしかったり、哀情を感じさせる憂いを帯びた声など、聴く者の想像を震わす歌声が印象的でした。



最後の曲は、アカペラで太鼓と共演。太鼓に負けない声量に圧倒されました。



情緒的なギターや重低音が響く和太鼓が入り、舞台上に厚みが増します。



鳥の影や月の明かり、フクロウに見立てた鳥の羽などの演出が想像をかき立てます。



ホール前のロビーには、おじんの言や小学生の乙葉ちゃんが描いたもずの絵が展示されました。

魂の叫び、アローブで再び!

おじんの朗読と音楽が紡ぐ童話の世界

一度目にしたら忘れられない、おじんの朗読。数々のご縁に導かれ、アローブでの再公演が実現しました。

Interview!

鬼頭隆さん・瑞希さん親子に聞く生きることを問いかける童話朗読への想い

◆童話作家になると決めたきっかけ

宮沢賢治の実弟宮澤清六さんにお会いしたこと。“童話で有名になろうとはしなかった”賢治の信念に触れ、覚悟が決まりました。

◆創作の原点、世界観

こどもの頃の厳しい家庭環境が影響していると思います。生きていく中で感じる悲しさ、悔しさをほじくりだして光を当て、作品の中に息吹として吹き込んでいくことで、昇華させている感覚があります。

◆即興ピアノ演奏について(瑞希氏)

毎回おじんの朗読や使用するピアノが違い、心の捉え方が変化することで、楽譜があると物語や感情から離れてしまう事に気がつき、原稿用紙を見ながらの即興演奏がはじまりました。おじんの物語と朗読とピアノでの掛け合いは、本気を超える世界が広がります。

◆「新もずの心」が出来るまで

2年前に緑内障と診断された時、実は内心「これでふくろうの気持ち分かる」と思った。しかしすぐに失明の恐怖に襲われます。その時、ふくろうやもずはどんな想いだっただか、「月のかけら」はどんなにありがたかったか。それらを心の底から実感し、「これは書き直さなければ」と思いました。



“新もずの心”の台本。勢いを途切れさせないよう見開きが大きく、細かく入れられた注釈に、こだわりを感じる。

鬼頭瑞希
Mizuki Kito
シンガーソングライター・
ピアニスト・ピアノ講師



鬼頭隆(おじん)
Takashi Kito
童話作家・詩人

関連企画

「宮澤やよい、鬼頭隆二人展 ～書写真絵の世界」

ギャラリーでは、書家である宮澤やよい氏と、おじんの二人展を開催。おじんの力強い詩、そして、やよい氏の美しい書に、たくさんの方が足を止め、見入っていました。



おじんが毎朝の散歩で見つけた風景をやよい氏が風景画に描き起こした写真絵も展示されました。

宮沢賢治のバイオリンが太府に!

クラシック音楽が好きだった宮沢賢治。特に弦楽四重奏が好きで、自身も「ゼロ弾きのゴースト」でモチーフとして使ったチェロを弾いていたそう。その彼が100年前に購入したバイオリンとピオラは、鈴木バイオリン製!そんなご縁もあり、2025年春、太府市歴史民俗資料館で、「宮沢賢治と音楽」展を開催。鈴木バイオリン製造でメンテナンスされたバイオリンとピオラもお披露目されました。



宮澤やよい×おじん×瑞希座談会

鬼頭親子とは何十年も前の付き合いの宮澤夫妻。トークは、宮沢賢治の様々な写真をバックに、とてもリラックスした雰囲気、笑いも尽きません。

第三部では、おじん、瑞希氏、そして書家の宮澤やよい氏との座談会が行われました。途中サプライズで、宮澤やよい氏の夫で、宮沢賢治の実弟清六氏の孫である宮澤和樹氏も登場!宮澤家と鬼頭家の不思議なご縁、そして童話作家として、また一人の人間としての宮沢賢治のエピソードなど、さまざまな話が語られました。

おじん詩朗読

座談会の後には、おじんの“詩の朗読”。自身の闘病体験を振り返り、周りの人々に熱く感謝を述べる場面も。最後に宮澤やよい氏も登場し、優しく響く声で、詩を朗読しました。



瑞希氏のピアノをバックに短編の詩を次々と朗読していくおじん。その語りは勢いと熱量を押し、聴く者の心に強く訴えかける。



report:01

11/3
開催歌って踊って!親子で楽しむコンサート
「こどもオペラ 3匹のこぶた」

オープニングが流れると、元気な挨拶とともに客席に登場するぷうちゃん、ふうちゃん、ぶうちゃんのこぶた達!歌で自己紹介した後の「ぼよん行進曲」では、こども達も踊りをマネたり歌ったり、会場の雰囲気も一気に盛り上がります。

舞台は「3匹のこぶた」のお話をベースに、こども達に馴染みのある歌に、オペラや伝統的な楽曲を挟みながら進み、自然とこども達がクラシックに触れられるよう工夫されています。悪役のオオカミが意外に(?)かわいく、ユーモアを交えて楽器の紹介をしたり、物語の中に遊び歌やコミカルなシーンが盛り込まれ、こども達を飽きさせません。アンコール曲の「ラデツキー行進曲」では、みんなの手拍子やオリジナルのカスタネットで会場が一体となりハッピーなフィナーレで幕を閉じました。

ワークショップ
牛乳パックで
カスタネットをつくろう!

公演前に関連ワークショップを開催元気いっぱいのぷうちゃんとぶうちゃんが登場すると、その場がお芝居の世界に親子で楽しく飾り付けをして、オリジナルのカスタネットが完成しました。



こぶたちゃん達が楽しく指導。みんな上手に作ることができました。



本物のオペラの声量は、さすがの迫力!



各楽器の紹介。三味線奏者に促されてオオカミもチェロを演奏し始めて驚き!

report:02

12/7
開催世界をめぐるピアノ連弾プロジェクト
「アントニオ・ルイス・シルバ&イネス・フィリップ PIANO DUO」

ポルトガル政府の助成を受けたピアノ連弾プロジェクトとして、ポルトガルのトップピアニスト二人がアローブにやってきました!聴く機会の少ない連弾のコンサートですが、ソロと比べて音の厚みや華やかさが増し、二人の息がぴったり合った演奏が耳にとっても心地よく響きます。低音パートの力強い音と高音パートの軽やかで繊細なタッチで作られるハーモニーは、一台のピアノで奏でられているとは思えないような音の広がりを感じました。軽快な楽曲をノリノリで弾いたり、時には腕を交差して巧みに鍵盤を弾いていく様は、まるでダンスをしているかのよう!

後半の演奏前には、質問コーナーが設けられ、二人が連弾することになったきっかけや、ポルトガルのことなど様々な質問があり、ボランティア通訳者の小池ソニアさんを通して真摯に答えてくれる姿が印象的でした。

ワークショップ
「アズレージョ」風
コースターを作ろう!

公演前の関連ワークショップでは、ポルトガルで「アズレージョ」と呼ばれるタイル風のコースターを製作しました。参加者は好きな柄の型抜きを選び、青い絵の具で転写。現れる美しい模様を鑑賞していました。



大人も子ども夢中になってペタペタ完成したものを参加者同士で褒めあう場面も。

pick up!

待望の第2回開催!本格的演劇講座

『空宙空地 関戸哲也に学ぶ 短編劇クリエーション講座』

演劇ユニット「空宙空地」の関戸哲也氏・おぐりまさこ氏を講師に迎え、本格的演劇講座を開講!2024年に第1回を開催し、参加者(=演者)による「チームアロウ部」を発足。今回待望の第2回を開催します!

12/19(金)にはキックオフ講座となる演劇ワークショップを開催しました。演劇に興味のある15名が参加し、演劇に必要なコミュニケーションや表現を楽しみながら体験しました。1月から約3ヶ月間稽古をし、3月に稽古の成果を披露する発表公演を行います。見所満載の短編劇をお届けしますので、ぜひご来場ください!

短編劇発表会
「アロウ部ショートストーリー」日時/2026年3月28日(土) 14:00開演(13:30開場)
場所/アローブこもれびホール

掘り下げ。

アローブの中で気になるモノやコト、ちょっと掘り下げてみました。

岩手県にイーハトーブを夢見て
童話作家・詩人 宮沢賢治

37歳という短い生涯の中で、美しく、そして少し哀しさを帯びた独特の世界観を持つ作品を数多く残した宮沢賢治は、現在の岩手県花巻市に生まれました。両親が質屋を営む裕福な家で育ちましたが、当時の岩手県は自然災害が多く、周りの農民たちは飢饉や凶作などにあえいでおり、博愛の精神に満ちた性格であった賢治は、その境遇に違和感を感じていたそう。24歳の時に童話作家を目指して上京しますが、妹の病気を機に帰郷、農業学校の教師となります。教師を

辞めた後、自ら農耕生活をしながら「羅須地人協会」を作り、農業指導者として活動しました。帰郷した頃に、イーハトーブ童話集と銘打たれた童話集「注文の多い料理店」を出版。イーハトーブとは賢治による造語で、彼の心象世界にあるドリームランドを指す言葉ですが、当時の岩手県はとてどもドリームランドとはいえない状況。それでも賢治は厳しい岩手の地に美しい理想郷を見ていたのかもしれない。のちの様々な作家に大きな影響を与えた、独創的な想像力と表現力が魅力の賢治の童話や詩ですが、生前にはあまり評価されていませんでした。病床で書かれたという「雨ニモマケズ」の詩は、賢治の理想の人物像だと言われていますが、困難に負けない心の持ち様と自己犠牲と献身の精神は、まさに彼の人生哲学が表れているといえるでしょう。

※らすぢんきょうかい



図書館通信

イベント情報

市民文化交流イベント「星空のナイトライブラリー」

休館日の静かな図書館で、SUZUKIカルテットによる演奏に合わせて星にまつわる本の朗読をします。
日時:1/19(月)18:00~19:30
場所:おおぶ文化交流の杜図書館
料金:無料・要申込 定員:100名
申込:12/2(火)より電話または図書館カウンターへ



今季のおすすめ図書

「賢治の学校」
鳥山敏子/著(サンマーク出版)

教育の理想のかたちが「賢治」の中にある。宮沢賢治の作品や生き方を通して、子どもの教育にとって大切なものは何かを探り、その実践の場としての「賢治の学校」を語る。親へ、教師へ贈る一冊です。



今季のおすすめ図書

「宮沢賢治と学ぶ宇宙と地球の科学1 宇宙と天体」
柴山元彦/編、西村昌能/著(創元社)

文学者として有名な宮沢賢治は、地学教師でもあった。中学・高校で学ぶ地学基礎のうち、宇宙科学と天文学に焦点を当て、星や宇宙にまつわる賢治の作品やエピソードを引用しながら、詳しくわかりやすく解説。



Information!



新年の願掛けはアローブで!

アローブ絵馬

1/4(日)~1/16(金)

毎年たくさんのお願いが集まる「アローブ絵馬」。集まった絵馬は長草天神様でちゃんとご祈禱していただいています。今年もよい1年になりますように...



100人以上マウクレレを合奏しよう!

HOOK×近藤利樹×Honoka
ウクレレコンサート2/1(日)14:00~
一般3,800円 高校生以下2,800円
※3歳未満入場不可

国内外で活躍するウクレレプレーヤー3組によるコンサート。一般のプレーヤー100名以上と一緒にウクレレを合奏する「HOOK 100 MOMENTS in OBU」も開催します。楽譜をお渡ししますので、事前にお申込みください。



アローブミニコンサートT.GIF

Clarinet Ensemble「みたらしんご よくばりコンサート」

3/6(金)19:00~ 一般500円(幼児以下は無料)

クラリネット五重奏によるコンサート。クラシックやポップスなど世代を問わず楽しめる演奏をお届けします。

2/2~販売開始!

FARMERS GARDEN
Cafe オムレット
Coffee Break!寒い冬に食べたいくなる
アツアツの選べるメインが登場!

麺、海老餃子、魚卵団子、湯葉、ソーセージが入った「麻辣湯(マラータン)セット」は、鍋の状態ですぐに提供!お好みでピュッフェの野菜をトッピングして煮込むことができます。「陶板焼きデミグラス煮込みチーズハンバーグ」や「魚介と野菜のアヒージョ」も、アツアツで楽しめます。いずれも50種類以上の野菜と惣菜・パスタ・ライス・パン・スープ・デザート・ドリンクが食べ放題!身も心もほかほかになる大満足のピュッフェです!



辛みとほろりとした7色になる麻辣湯



魚介の旨味たっぷりアヒージョ



陶板で焼く!選べるメインパスタ

Today's recommend:
スペシャル
メインピュッフェ
(3種から選べるメイン)
お一人様2,200円(税込)編集
雑誌

2026年が始まりました。アローブでは今年も、ファミリー向けやクラシック、地元演奏家の公演、朗読、映画、参加型企画、アウトリーチなど、多彩なイベントをテーマに合わせてお届けします。一度来てくださった方にまた足を運んでいただけるよう、今年も新しい角度から楽しめる企画を準備してまいります。どうぞご期待ください。(服部)

おおぶ文化交流の杜 allobu<アローブ>

愛知県大府市柵山町六丁目150-1

tel:0562-48-5155 fax:0562-48-5166

mail:info@allobu.jp

https://allobu.jp

開館時間 9:00-22:00

休館日 年末年始・定期点検期間



<館内図書館>

tel:0562-48-1808 fax:0562-48-8131

https://library.allobu.jp

開館時間 9:00-20:00

休館日 第3月曜日(祝日の場合は翌平日)・
年末年始・特別整理期間

access

電車 JR東海道本線、大府駅下車
大府市循環バス「ふれあいバス」で約15分(コースによって異なる)
「おおぶ文化交流の杜」下車
※詳しくは大府市ふれあいバスウェブサイトをご参照下さい。

車 知多半島道路 大府東海ICより155号線経由約10分
伊勢湾岸自動車道 大府ICより南へ約20分
名四国道23号 共和ICより南へ約20分

キャッシュレス決済が可能に!

施設利用料のお支払い時に、クレジットカード及びQRコード決済をご利用いただけるようになりました。

アローブイベント申込方法

ホールイベントのチケットは、以下の場所でお買い求めいただけます。

ホールイベント
チケット取扱い ■アローブ総合案内カウンター<9:00-20:00> ■大府市役所3階文化交流課<平日開庁時間内>
■愛三文化会館(大府市勤労文化会館)<9:00-20:00>

その他、講座等、各種イベントの詳細・お問合せ・お申込み方法は、アローブウェブサイト(https://allobu.jp)をご確認いただくか、アローブ総合案内カウンターへお問い合わせください。

アローブ
allobu おおぶ文化交流の杜

Back Number

「杜の音」のバックナンバーはアローブウェブサイトでご覧になれます。→https://allobu.jp

